

土木ふれあいフェスタ in 広島のご紹介

公益社団法人土木学会は、1914年に設立され、以降、「土木工学の進歩および土木事業の発達ならびに土木技術者の資質向上を図り、もって学術文化の進展と社会の発展に寄与する」ことを目的に様々な委員会活動や研究、取り組みを行ってきました。

当小委員会は、土木事業や土木技術のステークホルダーである市民にも「土木」への理解を深めていただくとともに、新たな土木技術の継承者となる子供たちを育てるべく、2008年の発足以降、全国各地で「土木ふれあいフェスタ」を開催してきました。



強いトンネルの実験



強い橋の実験



土木かるた



工作コーナー



水質パックテスト

～ これまでの開催地 ～

- ①2009.4 秋田県秋田市
- ②2009.10 広島県広島市
- ③2010.10 北海道札幌市
- ④2011.10 愛媛県松前町
- ⑤2012.10 愛知県名古屋市
- ⑥2013.10 千葉県柏市
- ⑦2014.10 兵庫県神戸市
- ⑧2015.10 岡山県倉敷市
- ⑨2016.10 秋田県大曲市
- ⑩2017.10 福岡県福津市
- ⑪2018.10 北海道札幌市
- ⑫2019.11 愛媛県松前町
- ⑬2020.1 秋田県秋田市

実施概要（令和5年度）

- イベント名 : 第14回 土木ふれあいフェスタ in 広島
- 開催日時 : 令和5年11月4日（土） 10:00 ~ 16:30
- 開催場所 : 広島県広島市 二葉の里 歴史の散歩道
- 主催 : 公益社団法人土木学会 コンサルタント委員会 市民交流研究小委員会
- 協力 : 公益社団法人土木学会 トンネル工学委員会
エキキタまちづくり会議、広島高速公社
- 来場者計 : 367人

実施内容

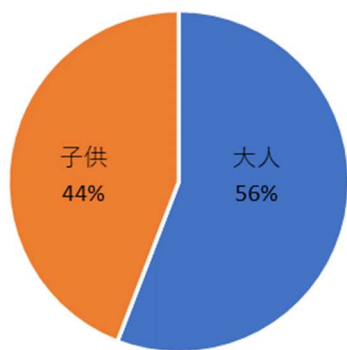
「くらしと安全を支える土木」をテーマに、スタッフがサポートをしながら、参加者には極力自らが見て、触れて、聞いて、考えながら土木に触れていただく場を提供しました。模型や実験でインフラ構造や施設を学ぶ『体験コーナー』では、クイズラリーも併せて楽しんでもらいました。また、委員会メンバーが読み札・絵札を考えた『土木かるた』、小さいお子様でもぬりえや工作を通じ土木を楽しめる『工作コーナー』、環境にやさしい移動サービスのグリーンスローモビリティや県内で取り組んでいるインフラ事業を紹介した『展示コーナー』など、未就学生から小・中高生、ご高齢の方まで、それぞれの立場に応じ楽しめる場をつくり上げました。



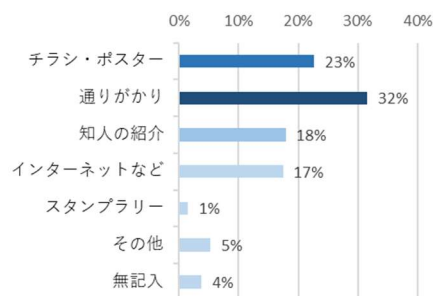
会場配置図

来場者へのアンケート調査結果

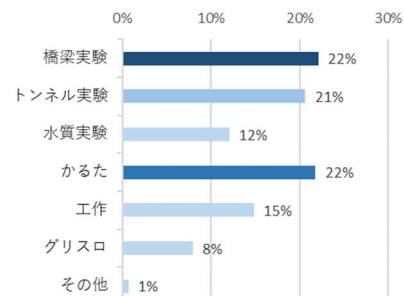
■来場者 (367人)



■来場のきっかけ



■おもしろかったコーナー (複数回答)



■自由意見 (一例)

- ◇ トンネルのもんだいのようさがまちがってしまっただけなのしかったです。またいきたいです。(子供)
- ◇ 水のたびがたのしかった。すごくおもしろかった。(子供)
- ◇ 物に乗ったり、工作して、とてもいいべん強になりました。(子供)
- ◇ 身近なものにもいろいろな工夫があるのがわかりました。子供
- ◇ 外でのイベントでとてもよかった。子供が理解してくれる時、とてもうれしかった。(大人)
- ◇ 優しい説明してくれて子供たちが楽しそうでした！クイズやゲームでわかりやすく、小さな子供でも話を聞けました。(大人)
- ◇ 土木の知識がなくても分かり易くとても良かった。それからこの知識はいつか役に立つと思いました。(大人)
- ◇ 災害時に備えて、今からできることをやっていこうとおもいます。(大人)
- ◇ 今回のように子どもの喜ぶイベントが定期的にあると嬉しいです。(大人)



～ 委員会スタッフ ～

コンサルタント委員会市民交流研究小委員会: 黒川信子(日本工営(株)) / 長塚麻子((株)エイト日本技術開発) / 清水陽子(秋田県) / 志小田可奈子((株)ドーコン) / 瀬尾弘美((株)建設技術研究所) / 高橋葵和子((株)ピー・アイ・ティー) / 松浦愛(前田建設工業(株)) / 鬢谷理江子((株)熊谷組) / 川上佐知・角川真帆・小川菜穂(復建調査設計(株)) / 比江 優理(株)アイ・エス・エス / 米田咲(佐藤工業(株))
 トンネル工学委員会: 宮城大助(中央復建コンサルタンツ(株))・内田昌志((株)奥村組)